

令和4（2022）年5月2日

近隣町内会の皆様へ

柏崎市産業振興部農林水産課

松くい虫防除薬剤地上散布のお知らせ

荒浜町内の保安林は、飛砂や塩害、冬季間の季節風等から皆様の生活を守っている大切な松林です。この松林を松くい虫から守るため、柏崎市では下記のとおり、松くい虫防除を実施します。農薬等による事故が起きないように十分に注意して行ないますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

記

防除実施日程（雨天・強風のときは日程が順延となります。）

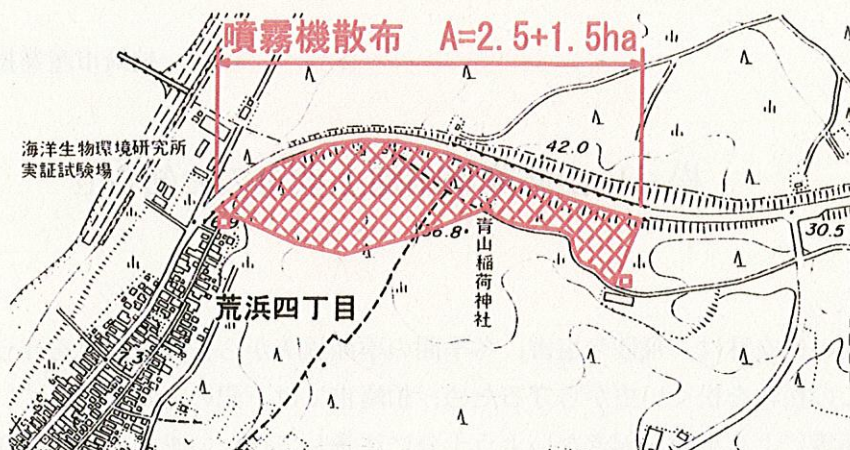
実施日	散布地域	対象病虫害	使用農薬	散布時間
6月4日（土）	荒浜保安林 松浜中学校裏 青山稲荷松林 （裏面図面区域）	マツノマダラカミキリ	スミバインMC剤 （2.5・50倍希釈液）	午前5時～ 午前11時頃まで

注意事項

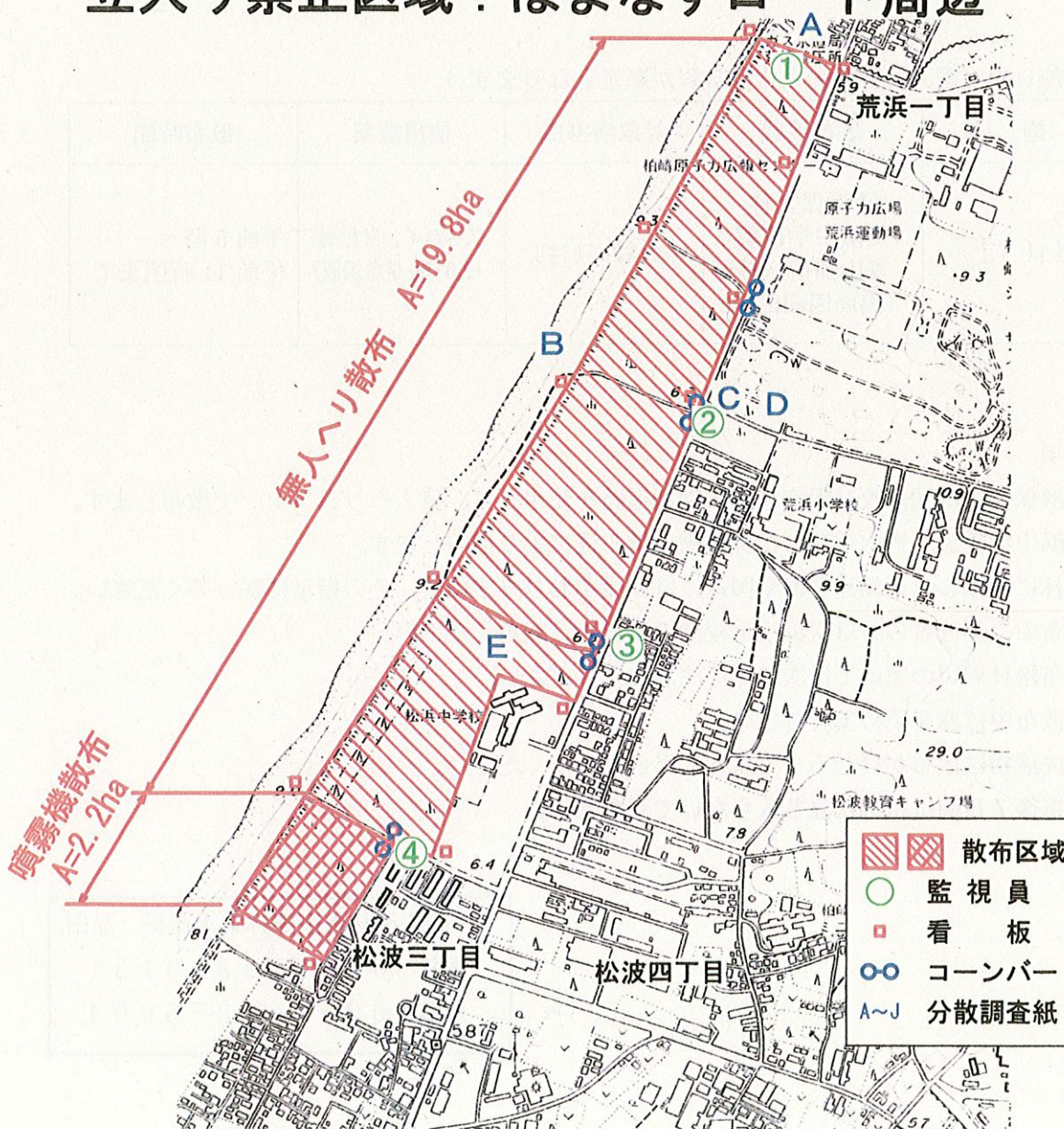
- 荒浜保安林は国道及び保安林内の管理道路を使用して、無人ヘリコプターで散布します。松浜中学校裏と青山稲荷の松林は動力散布機により散布します。
- 松林に隣接した通勤通学路や国道には係員がおりますので、その指示に従ってください。
- 散布中、歩行者の方は荒浜小学校側の歩道をご利用ください。
- 散布松林周辺の家屋では次の点に注意してください。
 - ・ 散布中は窓を閉めてください。
 - ・ 洗濯物は散布が終わるまで屋外に出さないでください。
- 散布後7日間は松林に立ち入らないでください。

【担当】農林水産課林業水産係 品田
電話：0257-43-9131
FAX：0257-22-5904

立入り禁止区域：青山稻荷周辺周辺



立入り禁止区域：はまなすロード周辺



松くい虫防除の目的

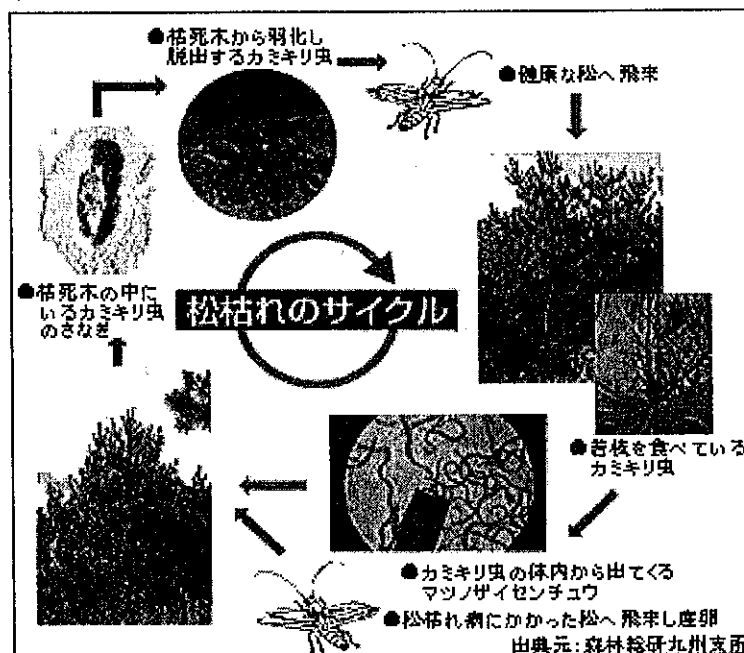
○ 松を枯らす虫たちと仕組み

一般的に松くい虫と言うとマツノマダラカミキリと呼ばれるカミキリ虫を想像すると思いますが、松はカミキリムシでは枯れません。本当に松を枯らすのはマツノザイセンチュウという目に見えないくらいの線虫です。ではなぜカミキリムシが松くい虫と言われるようになったのでしょうか。

それはカミキリムシがマツノザイセンチュウを運ぶからです。

マツノザイセンチュウは自分だけでは他の松に移動することはできません。マツノマダラカミキリ虫の中に入り込み他の松に移動します。

マツノマダラカミキリは松の新芽を食べます。そのときマツノマダラカミキリの体の中からマツノザイセンチュウが出てきて新芽の傷口から松の中に入り込み、樹脂道をとります。この刺激によって松は樹脂道を閉じてしまい栄養素を遮断してしまうため松が枯れてしまうのです。



○ なぜ被害が拡大するのでしょうか

マツノマダラカミキリは枯れはじめた松の樹皮の中に卵を産みます。健康な松に卵を産んでも松脂などで卵が死んでしまうからです。

卵がかえり幼虫となりサナギになって羽化しますが、この、サナギの時に発する二酸化炭素にマツノザイセンチュウが引き寄せられ、サナギの中に入り込み、成虫となったマツノマダラカミキリとともに他の松に移動するのです。これを毎年繰り返します。

○ 防除・駆除をする理由

市では毎年春または冬に枯れた松を切り倒し、細かく碎きます。これは幹の中にあるマツノマダラカミキリの幼虫やサナギを駆除するためです。また、春に薬剤散布をしますが、これは新芽を食べるマツノマダラカミキリの成虫を駆除し被害を抑えるためです。

無人ヘリコプター防除について

○ 無人ヘリコプター防除とは？

遠隔誘導ヘリコプター（250ccエンジン搭載）を使用し、松林の頭上3m位から薬剤散布を行う防除です。

○ 防除の方法

- ・ 道路際は従来どおり動力散布機で防除をします。道路から少し中に入った地点から無人ヘリコプターによる防除を行います。
- ・ 防除は、操縦者が高地や高所作業車からヘリコプターの位置を確認しながら薬剤を散布します。この時、地上にもヘリコプター誘導員を配置し、安全を確保します。

○ 無人ヘリコプターの利点

- ・ 無人ヘリコプターによる散布は松林の頭上から行うため、薬剤がきちんと松の新芽にかかるので、新芽を食べるマツノマダラカミキリムシに対し非常に有効です。
- ・ 松林の頭上3m位からヘリコプターが起こす風を利用し真下に散布するため、下から散布する方法より飛散が少なく安全性が高まります。

○ 無人ヘリコプターの欠点

- ・ 消音装置は装備していますが、エンジンを使用するため多少の騒音ができます。
- ・ 風の影響を受けやすいため（風速3m/秒以上になると散布できません）天候に左右されやすいです。

